

Bärenchor Concert 30

バーレンコールコンサート

30th anniversary

音楽監督・指揮 中村 雅夫

混声合唱とギターのための組曲

クレーの絵本 第1集

谷川俊太郎 詩 / 三善晃 曲

Anton Bruckner / Geistliche Chöre

アントン・ブルックナー モテット集

OB・OGメンバーを迎えて

混声合唱のための うたII / 武満 徹

J.S.Bach / "Lobet den Herrn, alle Heiden" BWV230

J.S.バッハ モテット「すべての国々よ、主をほめたたえよ」作品230

指揮：近藤 基 オルガン：原田 靖子

2024年6月1日(土) 開場 14:00 / 開演 14:30

松本市音楽文化ホール(ザ・ハーモニーホール)

一般 1,000円 学生 500円 (全席自由)

【徒歩】 JR大糸線島内駅より約3分
【車】 長野自動車道松本インターより約5分

誠に勝手ながら、団員への花束等の贈り物はご遠慮させていただきます

【チケットのお問い合わせ】 団長 上松 Phone: 0263-30-8050 E-Mail: baren10@yahoo.ne.jp

【チケットプレイガイド】 松本市音楽文化ホール

【主催】 バーレンコール <http://www.barenchor.com/>

【後援】 JCD 日本合唱指揮者協会 一般社団法人音楽樹 長野県合唱連盟 中信合唱連盟 松本市 松本市教育委員会
信濃毎日新聞社 市民タイムス 公益財団法人八十二文化財団



ベーレンコール

1984年、音楽監督・中村雅夫氏の学生時代の仲間を中心に結成。

年一回の定期演奏会、全日本合唱コンクールに参加。また、長野県外での演奏会にも積極的に参加し、2002年5月には、フランス・ナンシー市で開催された国際合唱祭に参加するとともに、フランス各地で単独演奏会を開催。現在は活動の拠点を松本に置き、ルネッサンスから現代の作品まで幅広く、難易度の高い作品にも積極的に取り組み、結成30周年を超えた。音楽監督中村雅夫の指導団体が一同に会し企画される「作曲家シリーズ」演奏会には第1回より出演している。



中村 雅夫(なかむら まさお/音楽監督・指揮)

大町高等学校、信州大学教育学部音楽科卒。声楽を林源二郎氏、指揮法を櫻井将喜氏に師事。松本市音楽文化ホールにてバリトンリサイタル出演。学生時代に関屋晋氏と出会い、合唱指揮を志す。以来、信州大学混声合唱団ほか地域の合唱団の指揮者を歴任。また各地の第九合唱団等のイベント指揮者としても活躍している。また、サイトウキネンフェスティバルの1000人の合唱指導も行った。セミナーやコンサートの企画も活発に行ったり、各地の合唱講習会の講師としても活躍するなど、地域の合唱振興にも力を注いでいる。

ベーレンコールを率いて全日本合唱コンクール全国大会に四回の出場を果たしている。また、パリで活躍する合唱指揮者ドゥニ・デュペイ氏からの信頼も厚く、2002年5月フランスナンシー市で開催された国際合唱祭に招待出演した。2010年にはSKF松本合唱団のニューヨーク

カーネギーホール「戦争レクイエム」演奏会の合唱指揮者として力を尽くした。その後もSKF公演、バレエ「中国の不思議な役人」、オペラ「火刑台上のジャンヌダルク」、オペラ「子どもと魔法」(グラミー賞受賞)、マラー「復活」などの他、こどものための音楽会「ベートーヴェン第九」の合唱指揮を行った。

現在ベーレンコール音楽監督、大町混声合唱団常任指揮者、アンサンブル・ルミネ音楽監督、信州大学グリークラブ常任指揮者、信州大学混声合唱団技術顧問他十数団体の指導を行っている。また、SK松本合唱団、まつもと市民オペラ合唱団、OMF松本合唱団の指揮者としても活躍している。

2003年松本市芸術文化協会「音楽賞」受賞。2010年「安曇野文化大賞」受賞。2021年「松本市文化芸術功労賞」受賞。

JCDA日本合唱指揮者協会会員。一般社団法人音楽樹メンバー。長野県合唱連盟理事長。



近藤 基(こんどう もとゐ/アシスタントコンダクター)

愛媛県出身。信州大学教育学部卒業。指揮法を増井信貴氏、合唱指導を中村雅夫氏に師事。信州大学混声合唱団在籍中より合唱指揮活動を始め、関屋晋氏から多大な影響を受ける。卒業後、長野県を中心に音楽活動を続けている。

現在、ベーレンコールアシスタントコンダクター、アンサンブルルミネ 常任指揮者、信州大学グリークラブコンダクター インレジデンス、信州大学混声合唱団アンサンブルトレーナー、女声合唱団歌姫 常任指揮者。JCDA日本合唱指揮者協会 会員、長野県中合唱連盟副理事長。



原田 靖子(はらだ やすこ/オルガニスト)

オルガニスト。東京藝術大学音楽学部作曲科および同器楽科オルガン専攻卒業。セントポール・インターナショナル・ルーテル教会(東京)オルガニスト、立教学院アシスタント・オルガニスト、立教池袋中学校・高等学校オルガニスト、東京藝術大学オルガン科教育研究助手などを経て、2014年4月～2023年3月まで9年間に亘って第4代・松本市音楽文化ホール専属オルガニストを務め、公演の企画・演奏、市民向け講座講師、アウトリーチ活動や地域の音楽団体との共演等を通じ、広くオルガンの魅力を発信する活動を行った。近年リードオルガンの演奏機会も多い。オルガンと他楽器とのアンサンブルの可能性を広げるための編曲多数。これまでに作曲と作曲理論を浦田健次郎、故山田

泉、川井學、オルガンを深井李々子、廣野嗣雄、早島万紀子、礼拝における即興演奏をスコット・ショウの各氏に師事。(一社)日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。東日本大震災による原発事故後の2012年よりチャリティーコンサートを続ける「ミホプロジェクト」(<https://mihoproject.wordpress.com/>)メンバー。